

平成18年度学校法人近畿大学弘徳学園事業報告

I、学 園 の 概 要

(1) 基本方針

平成16年4月、学校法人近畿大学弘徳学園は、学校法人近畿大学から分離独立し、それを契機に懸案であった新設の四年制大学（看護学部）の開設に向けて、本格的な準備に入ることとなった。

そして、平成16年6月頃から、学校法人賢明女子学院（姫路市本町）と同短期大学大塩キャンパス（姫路市大塩町2042-02）の買収に関して、断続的に交渉を行ってきた。当事者間の交渉は、決して順調なものではなく、一時は断念しようかという局面もあったが、大学設置計画を具体化し得るぎりぎりの、平成17年10月29日に「不動産売買契約」を締結するに至ったのである。

以来、新しい大学・学部学科の設置計画を具体化すべく、校地・校舎・設備・図書・標本及び教員組織等々について、文部科学省との事前協議に入るとともに、新設大学の校名を「近大姫路大学」（仮称）とすること、また、看護学部看護学科の入学定員を100名とすること等の試案を平成18年2月25日開催の評議員会及び理事会へ提案し、原案通り議決された。それを受けて、文部科学省へ「大学設置認可申請書」及び「寄附行為変更認可申請書」を同年4月に提出した。

他方、平成18年4月24日、大塩キャンパスにおいて、地鎮祭を執り行い、看護学部棟（鉄筋コンクリート造5階建）の建築に着工することとなった。

その後、文部科学省におけるヒヤリング及び委員の2回にわたる現地視察を経て、同年11月30日「近大姫路大学看護学部看護学科（入学定員100名）」の認可を受けたのである。近大姫路大学の校舎建築も順調に進捗し、平成19年2月末には完成をむかえ、学校法人近畿大学弘徳学園へ引渡されたのである。

※そして、平成19年4月1日には、近大姫路大学看護学部看護学科の開学・入学式を行う予定である。

近大姫路大学を開設するにあたり、上田理事長によって、建学の精神を具現化するための教育目標が示された。

近大姫路大学は、近畿大学創立者世耕弘一先生の説かれた「教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人の育成にある。」を建学の精神とし、他人や自然を思いやる、いわゆる「共生の心」を備えた人材の育成を目標とする。そして、この目的を具現化するために次のような教育目標をかかげ、その実現に向けて教職員一体となって尽力するものとされた。

1. 人間は人間だけで生きているものではなく、自然のなかで他の生命とともに、生かされているという認識をもつとともに、その思想を実践する力を培う。
2. 専門職業人としての基本的な倫理観を養うとともに、他人を思いやる心を培う。
3. 専門職に必要な基礎的知識・技術を修得するとともに、創造性を培う。
4. 社会・歴史に対する深い洞察力を身につけるとともに、豊かな人間性を培う。
5. 国際社会に適応しうる感性を育むとともに、異文化を理解しうる力を培う。

